

まんのうのひまわり

まんのう町は香川県の南西部、徳島県との県境近くに位置しています。1989 年以降、ここでひまわりの栽培が行われています。同じ年に休耕中の田んぼに種を植えたのが始まりです。町の人口は 20,000 人未満ですが、120 万本のひまわりが咲くこの町には、人口をはるかに上回る数の人々が毎年夏にやってきます。7 月には一面に黄色い花が満開に咲き誇ります。同じ月に、町では満開になった花を祝うひまわり祭りを開催しています。ひまわりは見て楽しむ以外にも、この町にとって貴重な観光資源です。以前小学校だった建物を利用して 2018 年にオープンした地元の工場で、ひまわりの種を搾って油を生産しています。この工場では、まんのう町で採れたひまわりの種だけを使用し、圧搾からボトル詰めまですべての生産工程をこなしています。種に含まれる栄養成分を損なわない低温圧搾法で抽出された油は、添加物や保存料を含まない、オレイン酸が豊富な製品です。まんのうひまわりオイルは、サラダドレッシングの主な原料としても使われています。油かす（油を抽出した種の搾りかす）の一部は「ひまわり牛」と呼ばれる地元産の牛の飼料に使われています。